資料　４－３
（310313 第 46 回監視円卓会議）

北海道 PCB 処理事業所　長期処理計画について

今年度に策定した長期処理計画は以下のとおりです。

１．当初施設（変圧器、コンデンサー等）

（１）処理対象 PCB 廃棄物

（平成 30 年 8 月 6 日時点の登録量、見込み量から平成 31 年度以降の処理対象物量を想定）

① 北海道事業エリアの処理対象物のうち北海道 PCB 処理事業所で処理するもの

(ア) 大型トランス　125 台

(イ) 小型トランス　399 台

(ウ) 車載トランス　3 台

(エ) コンデンサー　6,494 台

② 北海道事業エリアの処理対象物のうち他事業所で処理するもの

(ア) 大型トランス 1 台

(イ) コンデンサー（炭化品）350 台

（２）処理計画

計画的処理完了期限→　　事業終了準備期間→　　（台）

	H30年度見込み	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度	合計
大型トランス	70	66	50	9					195
同上（東京事業所へ）	1	1							2
小型トランス	131	110	149	140					530
車載トランス	44	3							47
コンデンサー	2,665	2,400	2,400	1,300	394				9,159
同上（大阪事業所へ）	0	200	150						350

２．増設施設（安定器及び汚染物等）

（１）処理対象 PCB 廃棄物

（平成 31 年 2 月 20 日時点の登録量から平成 31 年度以降の処理対象物量を想定）

①　北海道事業エリアの処理対象

安定器及び汚染物等　　556 トン

②　他事業エリアの処理対象物のうち北海道 PCB 処理事業所で処理するもの

東京事業エリアの安定器及び汚染物等　　3,137 トン

（２）処理計画

計画的処理完了期限⇒　　事業終了準備期間⇒　　（トン）

区分	H30年度見込み	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度	合計
安定器・汚染物等	274	300	256	0	0	0	0	0	830
同上（東京エリアから）	597	550	594	850	850	293	0	0	3,734
合計	871	850	850	850	850	293	0	0	4,564

※事業所内仕分けを見込む

（３）早期処理の促進に向けて

安定器の早期処理を促進するため、保管事業者における仕分けの徹底をお願いするとともに、本年度から JESCO の事業所内においても仕分けを実施しています(資料 4-2)。引き続き、仕分け対象の選別精度の向上等さらなる仕分けの促進に取り組んでまいります。

さらに安定器の処理にあたっては、仕分けの効率化に加え、更なる処理促進策として安定器をプラズマ処理が必要な部位とそれ以外の部位に分け、プラズマ処理の効率化・減量化を図ることを目的とした調査等を行っています。その結果を踏まえ、今後、実装に向けた具体的な検討に着手させていただきたいと考えています。

なお、上記のほか、処理が困難な PCB 廃棄物に関する技術的な検討についても恒常的に行っていく予定です。